

●公益法人Ⅲα Version 6.503、公益法人α Version 7.503

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP 搭載機へのインストールは不可となっています。

- ◆ 決算書において帳表の美化対応を行いました。（文字フォント・網掛出力・表紙印刷）
- ◆ 内訳表において帳表の美化対応を行いました。（文字フォント・網掛出力）
- ◆ 「監査報告書」の入出力に対応しました。
- ◆ 附属明細書の 2 表に新規対応しました。
 - 基本財産及び特定資産の明細
 - 引当金の明細
- ◆ その他の改良、修正を行いました。

※ご注意

当プログラムで処理後のマスターは、対応前のプログラムで処理を行わないでください。
必ず、他の I C S システムもプログラムバージョンアップを行ってください。

※詳細は、次ページからの“公益法人Ⅲα（VERSION:6.503）、公益法人α（VERSION:7.503）の変更点”を参照してください。

改良 (公益Ⅲα)

I. 決算 (公益Ⅲα)

1) 決算書

- ①帳表の美化対応を行いました。(文字フォント・網掛出力・表紙印刷)
[F6 項目登録] 共通タブ

項目登録

共通 貸借対照表 正味財産増減計算書 収支計算書 収支予算書 収支計算書(資金) 収支予算書(資金) 表紙 財務注記 脚注 備考 監査報告書

タイトル上部に法人名を出力する
 各ページに出力する
 帳表タイトルを各ページに出力する
 タイトルに年度を付加する
 「平成 28 年度」
 タイトルに「(案)」を付加する
 期間を自・至で出力する
 網掛出力する
 ページ番号を出力する
 出力行間 60 (1/10mm)
 財務注記に出力行間を適用する
 附属明細書に出力行間を適用する
 監査報告書に出力行間を適用する
 出力書体 明朝体
 明朝体
 明朝体+明朝体(太字)
 明朝体+ゴシック体

科目名称の出力 均等割り
 『内部取引消去』を有効にする
 金額の発生が無い欄に0円を出力する
 全ての科目を出力する

「出力書体」

『明朝体』 『明朝体+明朝体 (太字)』 『明朝体+ゴシック体』 の選択を追加しました。

「網掛出力する」

印刷時の [印字設定 - 色の設定] で項目タイトルの文字色や背景色、合計行用の網掛色の設定をします。

[F6 項目登録] 表紙タブ

『表紙囲み枠』 『背景イメージ』 『背景選択』 の選択を追加して、表紙の背景イメージに対応しました。

表紙囲み枠 タイトルのみ囲み枠
 背景イメージ 有り(全体)
 無し
 有り(タイトル)
 有り(全体)

背景選択

表紙イメージ選択

ckaa014a2.png kkaa012a2.png kkaa014a2.png kkaa016a2.png
 kkaa018a2.png kkaa012a2.png kkaa015a2.png kkaa017a2.png

インターネットの通知 インターファイルの検索 OK キャンセル

②「備考」欄の入力・出力に対応。

[F6 項目登録] 備考タブ

・収支計算書／収支予算書／収支計算書（資金）／収支予算書（資金）の備考欄の入力・出力に対応しました。

番号	科目	備考
1	1 一般正味財産増減の部	4文字
2	1 経常 増減の部	
3	(1) 経常 収益	
4	④ 事業 収益	
5	事業 収益 1	
6	⑥ 受取 補助金等	
7	受取国庫助成金	

[帳表種別]

備考出力する … チェックを付けると、帳表の備考欄に文言を出力します。

複数行入力 … 1行当たりの入出力は“全角4文字”です。※半角も可能です。

チェックを付けると、複数行の入出力が可能になります。全角300文字までチェックを外すと5文字目以降が削除される旨のメッセージを表示します。

・共通タブの「全ての科目を出力する」が OFF の時に選択できます。

「全ての科目を出力する」が ON の時は、全科目表示固定です。

[出力科目表示] …残高や予算などの金額がある科目行・項目行のみを表示します。

[全科目表示] …金額の有無に関係なく全ての科目行・項目行を表示します。

※黄色表示の行は金額があることを表します。

白色表示の行は残高や予算はありませんが、備考入力すると出力の対象となります。

※収支計算書／収支予算書の各タブ「備考欄を出力する」が OFF のときは備考タブの設定に関わらず、備考欄は出力されません。

※「部門」ボタンが ON のときは、部門ごとに備考の入出力が可能になります。

収 支 計 算 書					
平成 27 年 4 月 1 日から 平成 28 年 3 月 31 日まで					
(単位:円)					
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考	
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					

収 支 計 算 書					
平成 27 年 4 月 1 日から 平成 28 年 3 月 31 日まで					
(単位:円)					
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考	
I 一般正味財産増減の部					4文字以上は数字 で入力しま す。
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					

③「監査報告書」の入出力に対応しました。

[F6 項目登録]

「監査報告書」タブを追加しました。

・各項目のチェックボックスにチェックを付けたものが出力の対象になります。

タイトル/作成日/理事/監事/本文

※監査報告書はマスター全体での作成のみです。部門別の作成はありません。

・「原本転記」ボタンから、本文の原本文書を転記することができます。

出力帳票の選択

・監査報告書の選択を追加しました。（附属明細書の選択も追加しています。）

※部門選択時は選択できません。

出力帳票の選択

出力範囲

表紙

貸借対照表 収支計算書

正味財産増減計算書 収支予算書

財務諸表に対する注記

附属明細書

資金計算ベース

収支計算書 収支予算書

監査報告書

用紙サイズ

監 査 報 告 書

平成 28 年 9 月 30 日

公益財団法人 ○○協会
理事長 東京 太郎 殿

公益財団法人 ○○協会
監事 横浜 藤子

公益財団法人 ○○協会
監事 千葉 健太

公益財団法人 ○○協会
監事 春日部 新之助

私共監事は、平成27年04月01日から平成28年03月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

監事間の協議により、監査方針を定めた上で、監事○○は××の分野を中心に、監事△△は△△の分野を中心に調査を行い、その結果を監事間で協議して、監査を実施しました。
具体的には、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決議文書及び報告書を開覧し、当法人の理事等から、職務の執行状況等について定期的に報告を受け、また、随時説明を求めました。

2 監査の結果

(1) 事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
(2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
(3) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当地です。
(4) 計算書類とその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しています。

④「財務諸表に対する注記」の原本テーブル変更

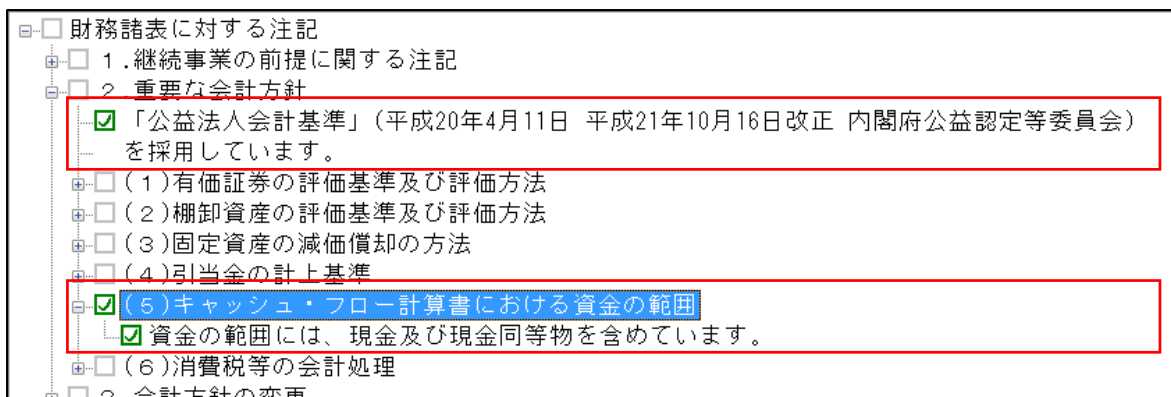
[F6 項目登録] 財務注記タブ

・「重要な会計方針」に下記を追加しました。

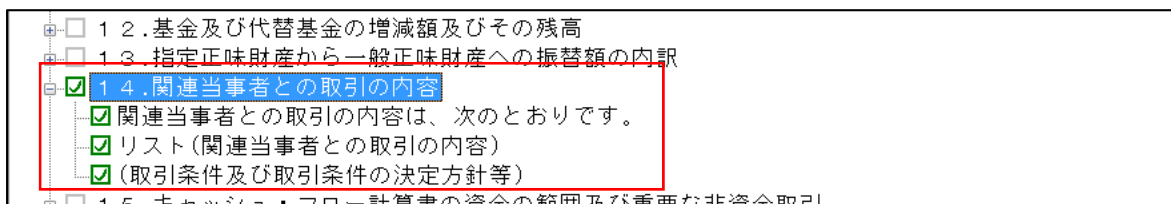
「公益法人会計基準」(平成 20 年 4 月 11 日 平成 21 年 10 月 16 日改正 内閣府公益認定等委員会)を採用しています。

(5) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

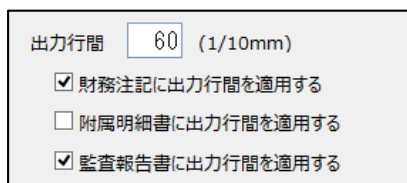
資金の範囲には、現金及び現金同等物を含めています。



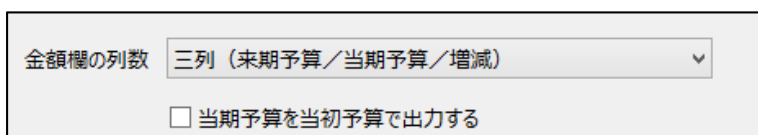
- ・「関連当事者との取引の内容」内に下記の文言及びリストを追加しました。



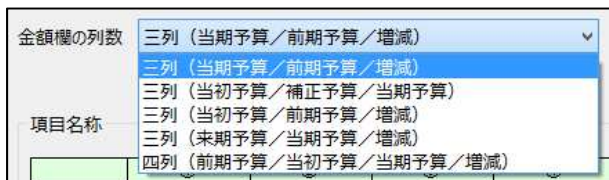
- ⑤「出力行間」を、財務注記・附属明細書・監査報告書にも適用する選択を追加しました。
[F6 項目登録] 共通タブ



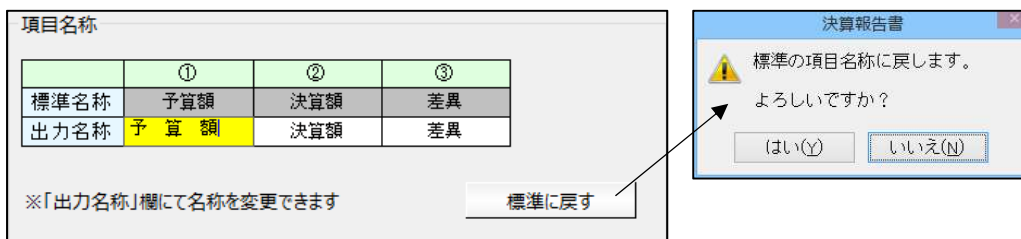
- ⑥予算書で当期予算を補正予算を加味しない金額（当初予算）での出力に対応しました。
[F6 項目登録] 収支予算書/収支予算書(資金)タブ



- ・金額欄の列数が「三列(来期予算/当期予算/増減)」のとき、『当期予算を当初予算で出力する』のチェックボックスが選択できます。
- ※また金額欄の列数の選択文言が「三列①」などの番号表記だったのを「三列(当期予算/前期予算/増減)」のように文言表記に変更しています。



- ⑦収支計算書の「予算額・決算額・差異」の名称を、収支予算書のように名称変更できるのに対応
[F6 項目登録] 収支計算書/収支計算書(資金)タブ
「項目名称」欄で、“予算額/決算額/差異”の名称変更ができます。
- ※「標準に戻す」で初期名称に戻せます。



⑧ [F7]合計・明細で分類項目を省略としたとき、対となる項目名も出力帳表上で非表示にするように対応しました。

- ・部に属する分類項目のうち、出力対象となる分類項目が全て省略の場合に部を非表示にします。
例：指定正味財産増減の部内の出力対象となる分類項目が全て省略の場合、部内の項目に加え、「指定正味財産増減の部」のタイトル行も非表示になります。
 - ・分類項目を省略にした場合、対になる項目が存在する場合はその項目も非表示にします。
例：経常外収益計が省略の場合、対となる「経常外収益」のタイトル行も非表示になります。
 - ・経常外費用計が省略の場合、対となる「経常外費用」のタイトル行も非表示になります。
- ※非表示は、合計・明細で省略にしているかどうかで判断し、金額のチェックは行いません。
※番号付きのタイトル行が非表示になる場合、以降のタイトル行の番号が変わります。

⑨集計方法の選択を追加し、財務d b決算書と同様の「期間集計」に対応しました。

- ・「出力期間の指定」の、集計方法『通常集計(期首からの累計)』/『期間集計』の選択を追加しました。
- ※期間集計は「決算」額についての対応です。(集計方法の選択に関わらず「予算」額は“期首からの累計”で出力されます。)

出力期間の指定

集計方法: 通常集計(期首からの累計) / 通常集計(期首からの累計) / 期間集計

出力月: 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 決
28年04月01日 ~ 29年03月31日 決

出力期間の指定

集計方法: 期間集計

出力月: 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 決
28年07月01日 ~ 28年09月30日 決

[F6 項目登録] 表紙タブ

- ・各ページの表示期間で、「各ページの年月日を表紙と異なる表示期間にする」がONの時、「指定期間から転記する」で、期間集計の期間を転記します。

各ページ表示期間 各ページの年月日を表紙と異なる表示期間にする 指定期間から転記する

自 28 年 7 月 1 日
至 28 年 9 月 30 日

⑩資金計算ベース「収支予算書」

- ・「三列(来期予算/当期予算/増減)」選択時「タイトルに年度を付加する」がONの時は、1年足した年度で出力するようにしました。

平成28年度収支予算書

平成 28 年 4 月 1 日から 平成 29 年 3 月 31 日まで

①収支計算書（損益ベース）

- ・項目登録の差額設定を「決算額－予算額」に変更したとき、出力に反映されていなかったのを修正しました。

②業務一括終了（業務バーの「実行中」）

- ・進捗記録のメッセージを表示しないようにしました。

2) 内訳表

①帳表の美化対応を行いました。（文字フォント・網掛出力）

[F6 項目登録] 共通タブ

「出力書体」

『明朝体』『明朝体+明朝体（太字）』『明朝体+ゴシック体』の選択を追加しました。

「網掛出力する」

印刷時の「印字設定－色の設定」で項目タイトルの文字色や背景色、合計行用の網掛色の設定をします。

②2 ページ目以降にも帳表タイトルを表示できるように対応しました。

[F6 項目登録] 共通タブ

- ・『帳表タイトルを各ページに出力する』の選択を追加しました。

③資金計算ベースの収支予算書を来期予算で出力できるように対応しました。

[F6 項目登録] 収支予算書（資金）タブ

『来期予算を出力する』の選択を追加しました。

※従来から対応しています「収支予算書」タブの「来期**予算書**を出力する」も「来期**予算**を出力する」に文言変更しています。

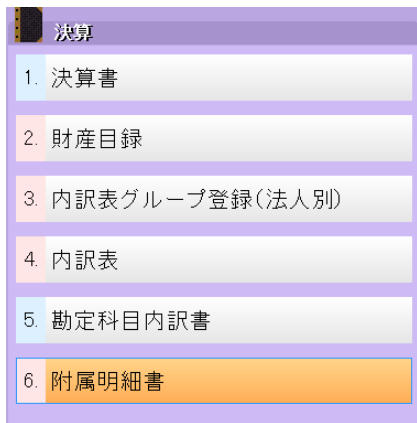
- ④ [F7]合計・明細で分類項目を省略としたとき、対となる項目名も出力帳表上で非表示にするように対応しました。
- ・部に属する分類項目のうち、出力対象となる分類項目が全て省略の場合に部を非表示にします。
例：指定正味財産増減の部内の出力対象となる分類項目が全て省略の場合、部内の項目に加え、「指定正味財産増減の部」のタイトル行も非表示になります。
 - ・分類項目を省略した場合、対になる項目が存在する場合はその項目も非表示にします。
例：経常外収益計が省略の場合、対となる「経常外収益」のタイトル行も非表示になります。
 - ・経常外費用計が省略の場合、対となる「経常外費用」のタイトル行も非表示になります。
- ※非表示は、合計・明細で省略しているかどうかで判断し、金額のチェックは行いません。
※番号付きのタイトル行が非表示になる場合、以降のタイトル行の番号が変わります。

3) 附属明細書（新規追加業務）

①「附属明細書」の2表に対応しました。

- 1.基本財産及び特定資産の明細
- 2.引当金の明細

- ・業務メニューに「附属明細書」を追加しました。
- ・「決算書」の出力帳表の選択に「附属明細書」を追加しました。



出力帳表の選択

出力範囲

表紙

貸借対照表 収支計算書

正味財産増減計算書 収支予算書

財務諸表に対する注記

附属明細書

資金計算ベース

収支計算書 収支予算書

監査報告書

用紙サイズ

- ※「部門」ボタンがONのときは、部門ごとに附属明細書の入出力が可能になります。
- ※「附属明細書」の出力は、当業務で出力する方法と決算書業務で出力する方法があります。

●基本財産及び特定資産の明細

- ・「固定資産」科目のうち、『基本財産』『特定資産』に設定されている科目を対象として、残高を自動集計します。

※実額入力が可能です。（実額値の背景は緑色。Delete キーで集計値に戻ります。）

基本財産及び特定資産の明細		引当金の明細				
部門						
番号	区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
1	基本財産	土地	200,000,000	65,000,000	0	265,000,000
2	基本財産	建物	100,000,000	0	0	100,000,000
3	基本財産	減価償却引当資産	0	0	0	0
4	基本財産	投資有価証券	3,000,000	0	0	3,000,000
5	基本財産	基本財産	3,000,000	0	0	3,000,000
6	基本財産	他基本財産	0	0	0	0
7	基本財産	基本財産基金1	0	0	0	0
8	基本財産	基本財産基金2	0	0	0	0
小計			306,000,000	65,000,000	0	371,000,000
9	特定資産	退職給付引当資産	6,000,000	0	0	6,000,000
10	特定資産	減価償却引当資産	0	0	0	0
11	特定資産	土地	250,000,000	50,000,000	0	300,000,000
12	特定資産	建物	120,000,000	0	0	120,000,000
13	特定資産	購入積立資産1	3,000,000	0	0	3,000,000
14	特定資産	購入積立資産2	0	0	0	0
15	特定資産	積立資産	0	0	0	0

←修正番号

●引当金の明細

- ・下記の「引当金」科目を対象として、残高を自動集計します。

(流動資産) 『債権貸倒引当金』『貸倒引当金』

(固定資産) 『長期貸倒引当金』

(流動負債) 『賞与引当金』

(固定負債) 『退職給付引当金/事業費』『退職給付引当金/管理費』『役員退職慰労引当金』

基本財産及び特定資産の明細		引当金の明細				
部門						
番号	科目名	期首残高	当期増加額	当期減少額(目的使用)	当期減少額(その他)	期末残高
1	債権貸倒引当金	0	0	0	0	0
2	貸倒引当金	0	0	0	0	0
3	長期貸倒引当金	0	600,000	0	0	600,000
4	賞与引当金	3,000,000	6,000,000	3,000,000	2,000,000	4,000,000
5	退職給付引当金/事業費	3,000,000	0	0	0	3,000,000
6	退職給付引当金/管理費	2,500,000	0	0	0	2,500,000
7	役員退職慰労引当金	5,000,000	0	0	0	5,000,000

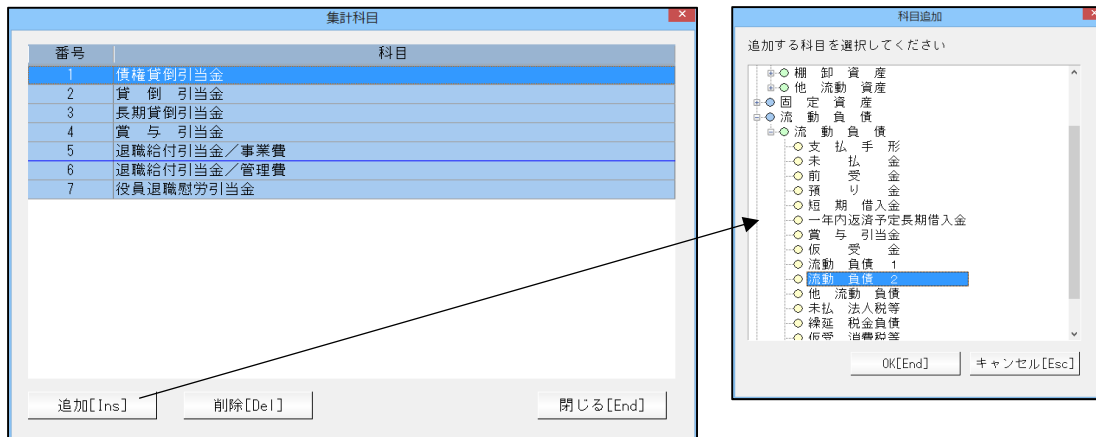
←修正番号

※「当期減少額(その他)」に実額入力が可能です。(「当期減少額(目的使用)」が減額されます。)

- ・[F9]集計科目で、当表に集計する科目を登録することができます。

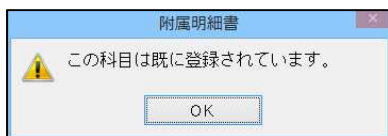
追加 [Ins] …引当金科目を追加することができます。

削除 [Del] …追加した科目を削除します。(既定科目は削除できません。)

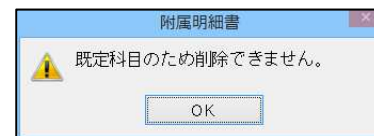


※メッセージ

既に登録済みの科目を追加しようとした時

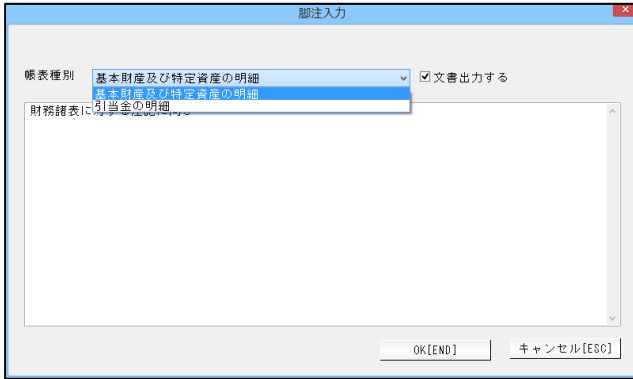


既定科目を削除しようとした時



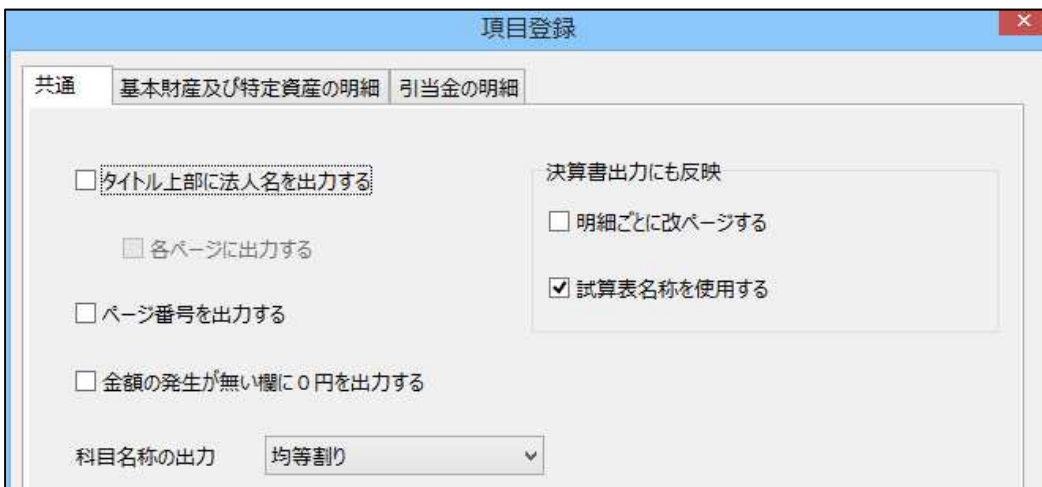
[Ins] 脚注入力

- ・基本財産及び特定資産の明細／引当金の明細 の個々に脚注登録ができます。



[F6 項目登録]

共通タブ



タイトル上部に法人名を出力する

各ページに出力する

ページ番号を出力する

金額の発生が無い欄に 0 円を出力する

科目名称の出力 (均等割り／左詰め／左詰め・ｽﾊﾟｰｽｶｯﾄ)

※以上の 4 項目は、『附属明細書』業務で出力する場合に有効です。

『決算書』業務で出力する場合は、決算書業務の [F6 項目登録] の設定で出力します。

明細ごとに改ページする

・基本財産及び特定資産の明細／引当金の明細 を別ページに出力します。

試算表名称を使用する

・附属明細書で扱われる科目は、決算書名称にすると同一表示になるものがありますので、当業務では違いを表すため、試算表名称で表示しています。(画面／出力とも)

チェックを外すと、決算書名称で表示します。(画面／出力とも)

※以上の 2 項目は、『附属明細書』『決算書』どちらの業務で出力する場合にも有効です。

基本財産及び特定資産の明細タブ／引当金の明細タブ

基本財産及び特定資産の明細を出力する／ 引当金の明細を出力する

・チェックを外すと、明細の全項目を出力しません。

表を省略する

・チェックを付けたら、明細の表部分を出力しません。

※以上の2項目も、『附属明細書』『決算書』どちらの業務で出力する場合にも有効です。

項目登録		
共通	基本財産及び特定資産の明細	引当金の明細
決算書出力にも反映		
<input checked="" type="checkbox"/>	基本財産及び特定資産の明細を出力する	
<input type="checkbox"/>	表を省略する	

項目登録		
共通	基本財産及び特定資産の明細	引当金の明細
決算書出力にも反映		
<input checked="" type="checkbox"/>	引当金の明細を出力する	
<input type="checkbox"/>	表を省略する	

【使用例】

「財務諸表の注記に記載をしている場合には、その旨を記載し、内容の記載を省略することができます。」とされています。

- ・「基本財産及び特定資産の明細を出力する」或は「引当金の明細を出力する」を ON にすると、その明細の出力を省略することができます。
- ・「表を省略する」=ON/脚注入力の「文書出力する」=ON にすると、その明細は脚注のみ出力することができます。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細
財務諸表に対する注記に同じ

2. 引当金の明細 (単位: 円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
長期貸倒引当金		600,000			600,000
賞与引当金	3,000,000	6,000,000	3,000,000	2,000,000	4,000,000
退職給付引当金/事業費	3,000,000				3,000,000
退職給付引当金/管理費	2,500,000				2,500,000
役員退職慰労引当金	5,000,000				5,000,000

その他改良・修正 (公益法人Ⅲ)

I. 登録・入力 (公益法人Ⅲ)

1) 収支科目・財産資産・消費税関係登録

①基財・特資集計項目メンテ

- ・印刷時、SEQ 番号が2ページ目以降も「1」から始まっていたのを修正しました。

II. 出力 (公益法人Ⅲ)

1) 試算表

- ・単一月指定の場合に、期間表示の上に「○月分」と指定した月を表示するようにしました。
- ・出力用特殊名称で「決算書名称」で出力されていた箇所を「試算表名称」で出力するように修正しました。
- ・試算表をプレビューしている状態で、仕訳入力に移動して仕訳の追加・修正を行った後、試算表に切り替えると「公益法人・試算表は動作を停止しました」と表示され、業務選択画面に戻っていたのを、試算表の出力指定画面に戻るようにしました。

その他改良・修正（公益法人・公益法人Ⅲ共通）

I. 導入・更新

1) 翌期更新

①更新ダイアログ

- ・電子帳簿保存の注意文言を追加しました。

マスター更新

翌期への更新を行います
更新を行うと、当期の仕訳は全て削除されます。
続行しますか？

翌期より、電子帳簿保存を行う
※電子帳簿保存を行うには、所轄税務署に申請が必要です。

当期のマスターをハードディスクに保存する
 当期のマスターを確定とする

OK [F12] キャンセル [Esc]

②決算書項目

- ・決算書 [F6] 項目登録の共通タブの「タイトルに年度を付加する」の値を更新時に加算するようにしました。

※翌期更新後、「平成 年度」の値が+ 1 されます。

共通 貸借対照表 正味財産増減計算

タイトル上部に法人名を出力する
 各ページに出力する
 帳表タイトルを各ページに出力する
 タイトルに年度を付加する
「平成 27 年度」
 タイトルに「(業)」を付加する

II. 登録・入力

1) 仕訳入力

①検索項目

- ・仕訳入力の検索項目に「資産：取得/譲渡」の条件を追加しました。「なし」・「取得」・「譲渡」から選択可能です。

設定と異なる仕訳 資産：なし

借科目：-----

借収入：NOT (なし)

なし
なし
取得
譲渡

摘要のみ(Ins)>> 全項目消去(F11)

検索開始(F8)>>

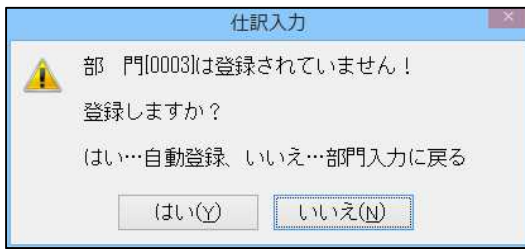
<<入力(End) 取消検索(F9)

取得・・・「取得譲渡：取得、取得（相殺）」の仕訳を検索します。

譲渡・・・「取得譲渡：譲渡、譲渡（相殺）」の仕訳を検索します。

②伝票入力／出納帳入力

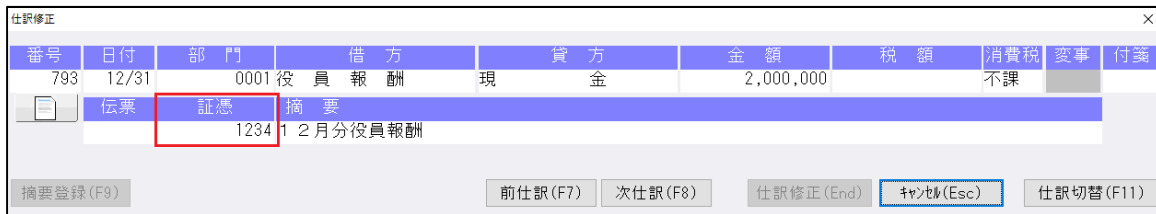
- ・未登録部門を入力した時、通常入力と同じメッセージを表示して、カーソルを「いいえ」に置くように動作を統一しました。



2) 元帳検索

①証憑番号の確認・修正に対応

- ・元帳検索画面で証憑番号の確認、修正ができるように対応しました。



②部門番号表示に対応

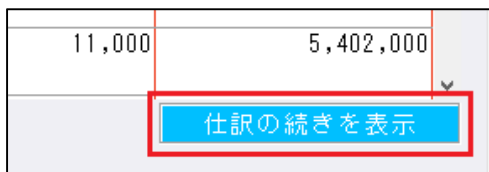
- ・検索指定画面に「部門番号を表示する」機能を追加しました。



「部門番号を表示する」にチェックを付けると、仕訳修正画面に「部門」の列が表示されます。

番号	月日	科目	部門	摘要	税	借方	貸方	差引残高
				* 前期より繰越 *				2,523,500
1	4. 1	旅費 交通費	0001	電車代	内 6		3,000	2,520,500
2	4. 1	消耗品費	0001	トイレットペーパー	内 6		5,000	2,515,500
3	4. 1	雑費	0001	会費	内 6		600	2,514,900

③「仕訳の続きを表示」ボタンに色を付け目立つように対応しました



④ [F6 設定]

- ・「残高問合せからの移行時、単一指定にする」を追加し、チェックON時は、該当科目のみ読み込むように対応しました。
元帳検索の検索指定で単一科目だけを指定した状態と同じになります。

設定

フォント: フォント (小)

差引残高: 毎行出力 日付替時のみ出力

相手科目の科目コード: 表示する 表示しない

残高問い合わせからの移行時、単一指定にする

全社共通

一括税抜き仕訳をまとめる

OK キャンセル

⑤検索指定で、単一科目指定で検索を行い、その後に検索指定で前回選択科目を含む科目範囲指定をして仕訳修正画面を表示すると、前回検索した科目から表示していたのを、範囲指定の先頭科目から表示するようにしました。

例: 「当座預金2」を検索した後、「当座預金1」～「当座預金3」で検索すると、「当座預金2」が表示されていたのを、「当座預金1」を表示するようになります。

◀元帳検索補足▶

- ・検索指定画面で各設定等を変更して再検索すると、先頭の科目に戻すようにしています。
経理処理・部門・形式・仕訳検索期間・画面表示設定等の切替が該当します。
※科目指定を行っている場合は指定している科目範囲の先頭の科目を表示します。
※科目指定を行っていない場合は発生のある先頭の科目(諸口・現金等)を表示します。

3) 新規会社登録・修正・削除

①電子帳簿保存

- ・電子帳簿保存を行うにした時に、メッセージを表示するようにしました。

項目	設定
校番入力	行わない
部門入力	行わない
OCR処理	行わない
原票イメージ保存	行わない
原票イメージ送受信	行わない
電子帳簿保存	行う
科目コード出力	行う
確定済み仕訳の修正	行う
比率計算時の端数処理	行う
伝票番号の出力桁数	10桁
証憑番号の使用	使用する
推定在庫	使用する

新規会社登録・修正・削除

電子帳簿保存を「行う」にすると、翌期更新時にしか「行わない」に戻すことができません。
変更してよろしいですか?

はい(Y) いいえ(N)

②画面表示

- ・ワイド画面で起動後、画面を最小化後、最大化した場合など、一部表示位置がずれていたのを修正しました。

4) 資金科目・予算・予備費関係登録 (公益法人Ⅲa)

①部門ごとに予備費流用実施日を持つように対応しました。

- ・【公益Ⅲa】 (予算・予備費登録/予算・予備費登録(資金収支)-[F11]詳細入力)

※一つの科目に対して部門ごとに異なる予備費流用実施日を設定できるようにしました。

②帳表出力に出力月の指定、累計/発生の選択を追加しました。

- ・【公益Ⅲa】 予算・予備費登録/予算・予備費登録(資金収支)-[F4]プレビュー/[F5]印刷

帳表の種類	出力月	累計/発生
予算残高一覧表	指定可	【累計】のみ
科目予算流用一覧表	指定可	【累計】⇔【発生】の選択あり
年間予算表	指定なし	選択なし
月別予算表	指定可	【累計】⇔【発生】の選択あり

Ⅲ. 出力

1) 総勘定元帳

①設定画面

- ・枝番の選択で、番号欄にカーソルを置かずに、▼をクリックすると、枝番一覧が表示されなかったのを修正しました。【F8 合計転記】も同様の対応を行っています。

以上